

【 議 事 1 】

令和2年度地域公共交通確保維持改善事業
（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）
に関する事業評価について

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

別添 1

令和 年 月 日

協議会名：下関市地域公共交通会議

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
下関市（豊田） 全路子線	豊田総合支所 ～ 上全路子	公共施設へ時刻表設置を行い、コロナ対策として、定期的な車両内部の消毒、換気を行い、安心して利用できる環境作りに務めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A (4路線) 目標利用者数 2,270人/年 実績利用者数 2,543人/年 目標達成率 112.0% 昨年度より利用者が減少しているが、目標を達成することができた。	- 生活バス全路線1乗車ワンコイン(100円)化を継続。 - 新型コロナウイルス感染症に関する状況を注視し、安心して利用できる環境の整備や、自治会へのチラシ配布、イベント時の意識啓発活動を行い、更なる利用促進を図る。
下関市（豊田） 一の俣線	豊田総合支所 ～ 佐野		A 計画どおり事業は適切に実施された。		
下関市（豊田） 今出線	豊田総合支所 ～ 地吉		A 計画どおり事業は適切に実施された。		
下関市（豊田） 一の瀬線	豊田総合支所 ～ 中の瀬		A 計画どおり事業は適切に実施された。		
下関市（菊川） 縦ノ木・保木線	バスターミナル ～ 縦ノ木	自治会を通じてチラシ及び時刻表を配布し、R元年11月文化産業祭にてバス教室を実施し、新たな利用者の確保に努めた。 また、コロナ対策として、定期的な車両内部の消毒、換気を行い、安心して利用できる環境作りに務めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B (縦ノ木・保木線) 目標利用者数 1,980人/年 実績利用者数 1,470人/年 目標達成率 74.2% 新型コロナウイルスの影響による外出控えや学校の臨時休校、利用学生の卒業等により、利用者が減少し、目標は達成できなかった。	再編実施計画に基づき、地域のニーズを踏まえた運行ダイヤや便数、経路、運行形態等、生活バス路線のさらなる具体的な見直しに取り組む。

《 評 価 基 準 》

④ 事業実施の適切性：

生活交通確保維持改善計画に基づく事業が適切に実施されたかを、A、B、Cの3段階で評価する。
計画どおり実施されなかった場合には、理由等を明らかにする。

A：事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された

B：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった

C：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

令和2年度（R元年10月～R2年9月）下関市生活バス5路線については、
全ての路線で計画通り適切に実施されたため「A」判定とした。

⑤ 目標・効果達成状況：

生活交通確保維持改善計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、
設定した目標ごとに「A、B、C」の3段階で評価する。

目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上明らかにする。

A：事業が計画に位置付けられた目標を達成した

B：事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった

C：事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった

令和2年度（R元年10月～R2年9月）の事業について

目標値を達成した路線は「A」判定とした。

・・・豊田地域4路線

目標値の7割を達成した路線は「B」判定とした。

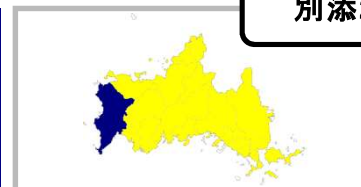
・・・菊川地域1路線

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名：	下関市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	合併前の菊川、豊田、豊浦、豊北町地域においては、住民の移動手段を確保するためそれぞれ生活バスが運行されていたが、地域によって運行の態様等様々であったため、合併協議において新たな制度の構築がされ、4町地域のバス交通の制度について見直しを行い、サービス水準を統一し、地域間における公平性を図るとともに、地域の状況にあった移動手段を確保するため、平成20年度に「下関市地域交通総合連携計画」を策定した。 この基本方針に基づき、各地域内での整備方針を定めるとともに、平成21年度、「地域公共交通活性化・再生総合事業」の支援を受け、実証運行を経て、平成22年4月から本格運行を実施した。 平成30年3月には下関市総合交通戦略（下関市地域公共交通網形成計画）を策定し、今後も継続的な公共交通を維持・確保するために地域公共交通確保維持事業を活用し、住民の生活交通手段を存続させていく必要がある。

令和2年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 下関市地域公共交通会議 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要



下関市の概要

- ・平成17年2月に1市4町が合併
 - ・人口 25万8千人(令和2年12月現在)
 - ・面積 715.89平方キロメートル
- ※平成27年国勢調査

下関市地域公共交通会議の構成員 下関市連合自治会 サンデン交通(株)
ブルーライン交通(株) 山口県タクシー協会 西日本旅客鉄道(株)
交通労連山口県支部 中国運輸局山口運輸支局 下関商工会議所
下関警察署 山口県下関土木建築事務所 下関市社会福祉協議会
下関市立大学 山口河川国道事務所 下関市(都市整備部・建設部・港湾局)

概 要

下関市は、平成17年に旧下関市と旧菊川町、旧豊田町、旧豊浦町、旧豊北町の1市4町が合併し、広い市域を持つ事となった。

合併前の4町地域では、住民の移動手段としてそれぞれの態様で生活バスが運行されていたが、合併後においてサービス水準の統一と地域間における公平性確保のため、制度の見直しを行い、日常生活に必要な地域内移動及び広域移動を担う鉄道や幹線バスへの接続手段確保等、運行方法の検討と構築を行って来た。

こうした地域内の移動や、広域の交通機関への接続などについて、持続可能な地域交通を確保・維持する取組みとして地域内フィーダー系統確保維持計画を策定し運行を行っている。

協議会の主な取り組み

- ・交通空白地域におけるフィーダー交通の導入
- ・「下関市総合交通戦略」進捗管理
- ・公共交通利用促進

協議会における検討

- ・第25回(令和2年5月21日)
下関市生活バス 運行方法の変更計画(案)、停留所の名称変更、
運休日の変更について
- ・第26回(令和2年7月15日)
自家用有償旅客運送 登録の更新について
地域内フィーダー系統確保維持計画について
令和元年度自家用有償旅客運送の運行実績について
下関市総合交通戦略(下関市地域公共交通網形成計画)の進捗管理について
下関市地域公共交通再編実施計画の策定について
- ・第27回(令和3年1月6日)
地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー、バリアフリー化設備等
整備)に関する事業評価について
菊川町生活バス「樅ノ木・保木線」貨客混載について

下関市地域公共交通会議 事業の評価

定量的な目標・効果

(目標) 令和2年(2020)度 豊田地域2,270人/年、菊川地域 1,980人/年

(効果) 生活バスを維持することで、買物や通院など各地域内における生活のための移動手段が確保され、高齢者等の外出促進が図られると共に、幹線系統に接続することで広域移動の機会についても確保される。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

予定していた利用促進策（地域イベントでのチラシや時刻表の配布、運行についての説明等）については、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止とし、バス車両内部を定期的に消毒する等、利用者が安心できる環境作りに努めた。

また、地域のニーズを踏まえた運行ダイヤや経路、運行形態等の見直しを検討した。

実施した利用促進策

◎全域：使用料金ワンコイン化を継続。

コロナ対策として、定期的な車両内部の消毒、換気、運転手のマスク着用。利用者へのマスク着用お願い。

○豊田：公共施設へ時刻表掲示。

○菊川：R元年11月文化産業祭にてバス教室を実施。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

地域のニーズを踏まえた運行ダイヤや経路、運行形態等の見直しを検討し、R2年10月からR7年9月までの再編実施計画を令和2年8月に策定した。

地域住民の意見の反映

○豊田：委託事業者よりヒアリングを行い、利用状況等を確認。

○菊川：地域のイベント等で利用者に直接聞き取り等を行い、利用状況等確認。

下関市地域公共交通会議 事業の評価

事業実施の適切性

○豊田 全路子線：計画通り事業は適切に実施された。
一の俣線：計画通り事業は適切に実施された。
今出線：計画通り事業は適切に実施された。
一の瀬線：計画通り事業は適切に実施された。

○菊川
縦ノ木・保木線：計画どおり事業は適切に実施された。

目標・効果達成状況

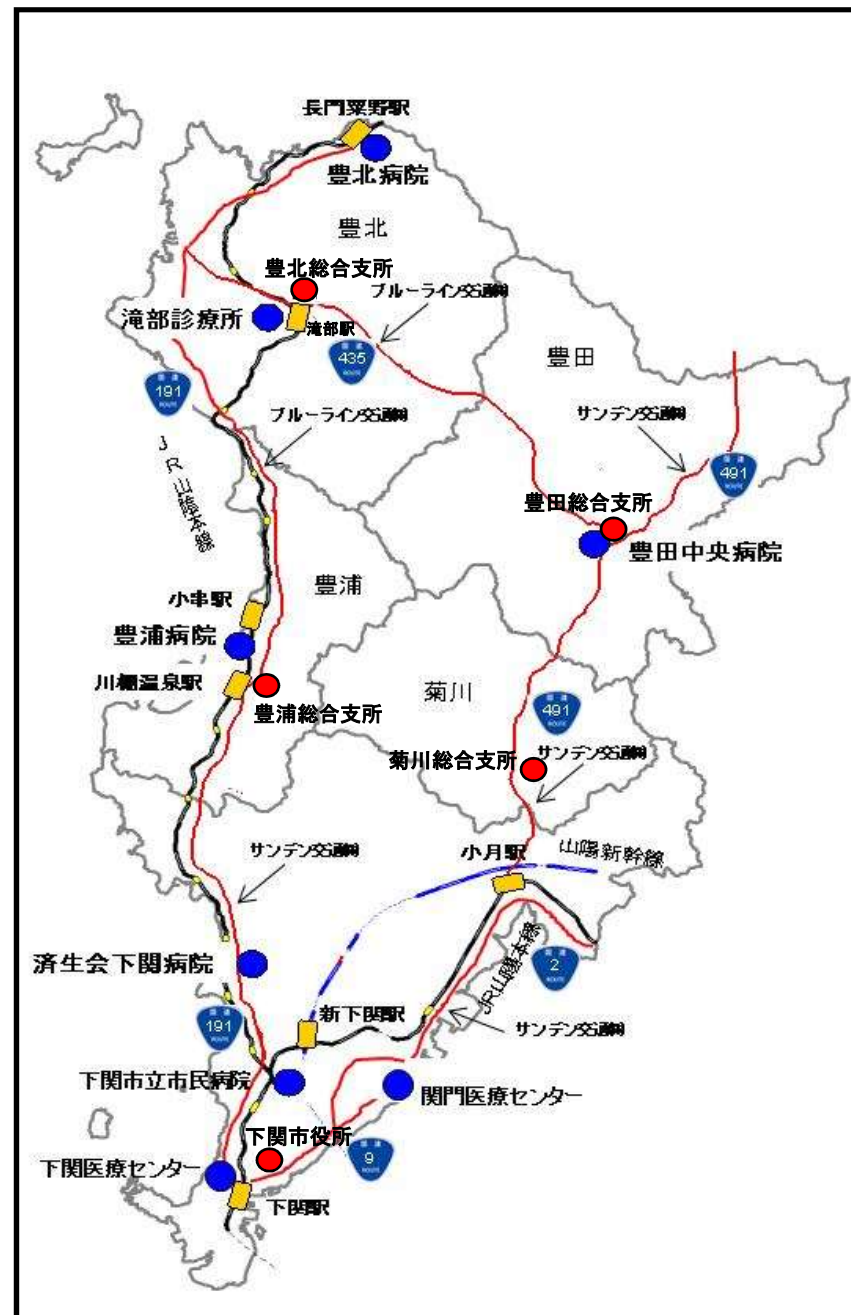
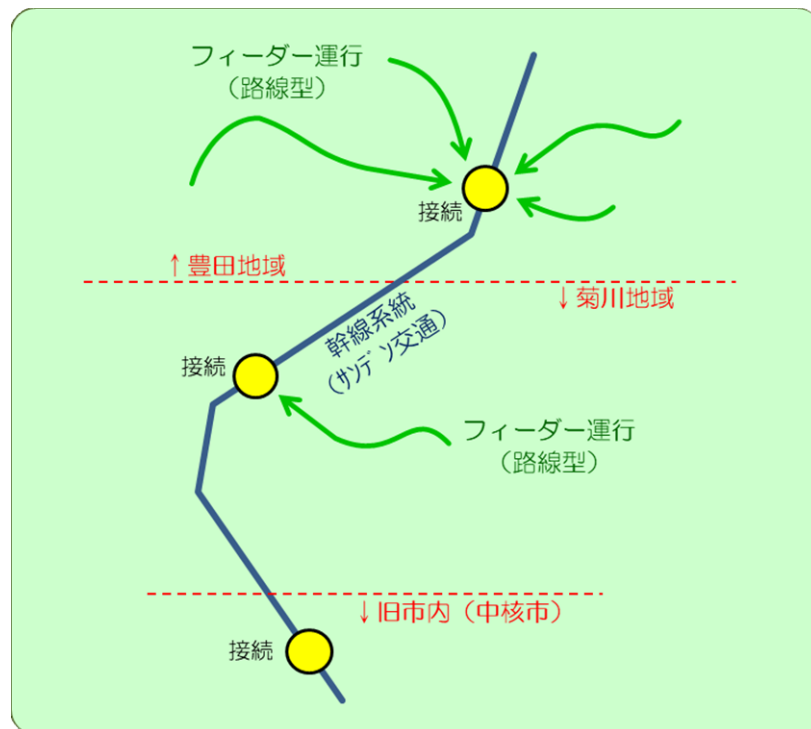
○豊田：R1(H31)年度利用者数:2,928人/年 R2年度目標利用者数:2,270人/年 R2年度実績:2,543人/年
昨年度より利用者が減少しているが、目標を達成する事ができた。

○菊川(縦ノ木・保木線)
：R1(H31)年度利用者数:1,535人/年 R2年度目標利用者数:1,980人/年 R2年度実績:1,470人/年
利用者が減少し、目標は達成できなかった。

事業の今後の改善点

- ・生活バス全路線1乗車ワンコイン(100円)化を継続。
- ・新型コロナウイルス感染症に関する状況を注視し、安心して利用できる環境の整備や、自治会へのチラシ配布、イベント時の意識啓発活動を行い、更なる利用促進を図る。
- ・再編実施計画に基づき、地域のニーズを踏まえた運行ダイヤや便数、経路、運行形態等、生活バス路線のさらなる具体的な見直しに取り組む。

交通体系図 別紙



運行系統図 別紙

● 市町村運営有償運送（下関市生活バス）●

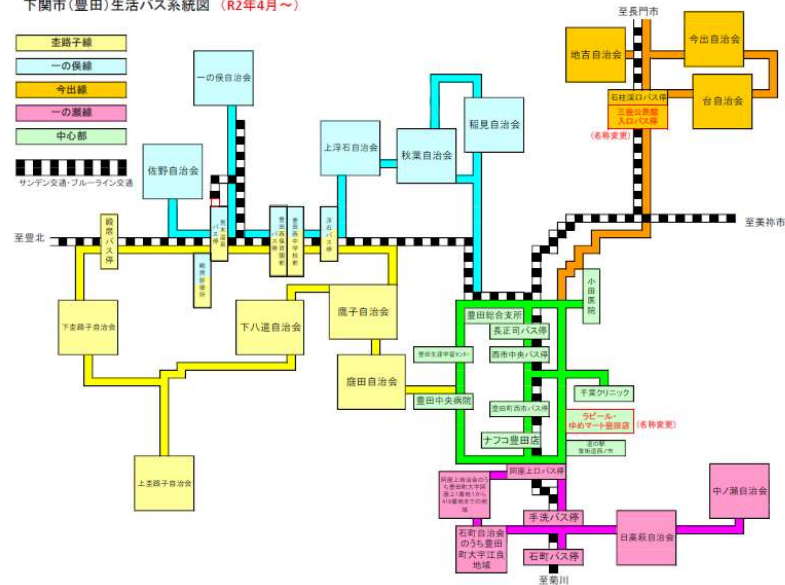
○系 統 名○ （豊田地域）奎路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線、（菊川地域）樫ノ木・保木線

○運 行 日○ 月曜日から土曜日

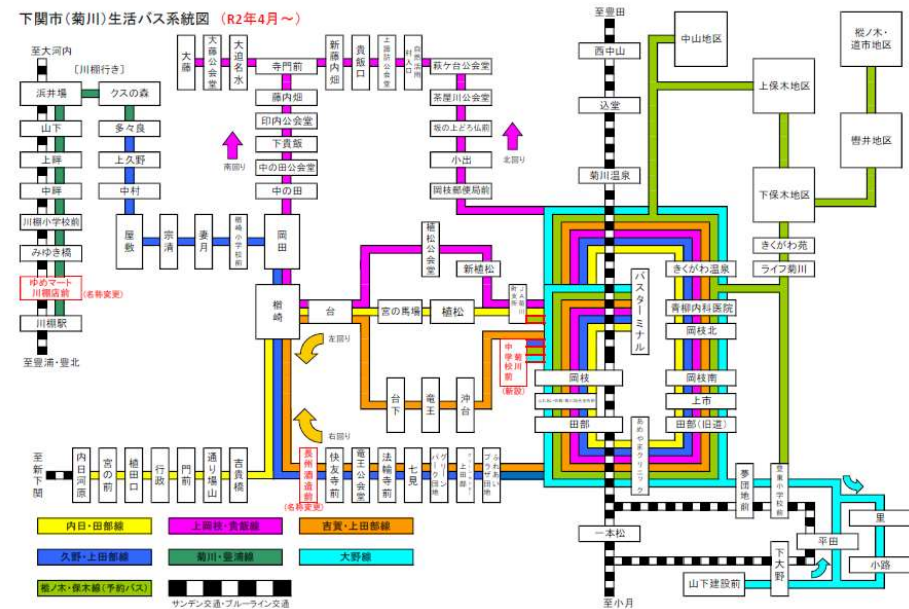
○便 数○ 奎路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線・・・3回 樫ノ木・保木線・・・4回

○運 賃○ 一乗車使用料 100円

下関市（豊田）生活バス系統図（R2年4月～）



下関市（菊川）生活バス系統図（R2年4月～）



事務連絡
令和2年3月12日

下関市地域公共交通会議会長 殿

中国運輸局交通政策部長

令和元年度地域公共交通確保維持改善事業に関する
事業評価（二次評価）の結果について

貴協議会から提出のありました「令和元年度地域公共交通確保維持改善事業事業評価（自己評価）票」等を基に、中国運輸局において事業評価（二次評価）を実施しましたので、その結果を別添のとおり通知します。



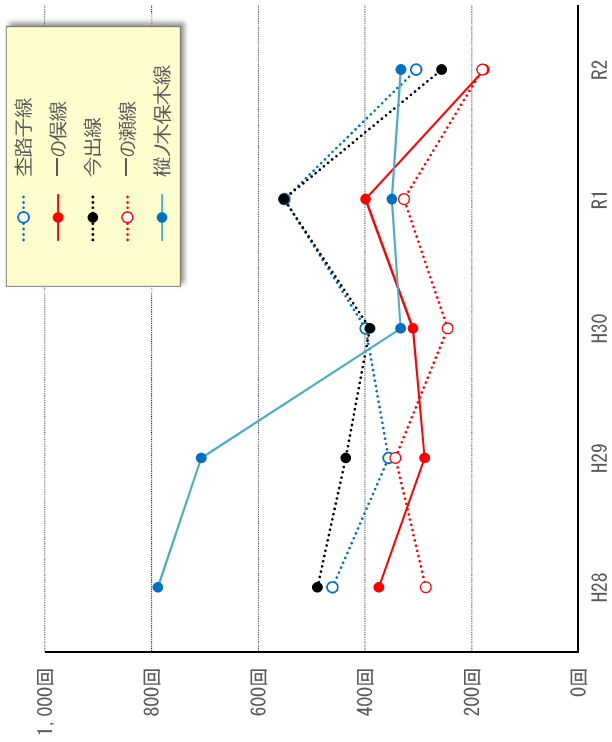
地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年2月20日
中国運輸局

評価対象事業名：地域内フィーター系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果					地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標 ・効果 達成 状況	⑥事業の今後の改善点			
下関市地域公 共交通会議	下関市	全路子線 豊田総合支所～上全路子	地域の敬老会会場にて、生活バス 利用についての説明を行い、チラシ や時刻表の配布を実施した。 また、H30年3月に策定された網形 成計画に合わせ、生活バスの再編案 検討に着手した。	A	A	自治会へのチラシ配布や、イベント時の意識 啓発活動を行い、更なる利用促進を図る。 また、網形成計画に合わせ、地域のニーズ を踏まえた運行態様や運行経路、運行本数、 車両の大きさ等の見直しを行い、生活バス路 線の再編に取り組む。	・網形成計画に基づいて生活バスのワ ンコイン化を実施したり、自治会やイベ ントを通じてのチラシ、時刻表配布など の利用促進に取り組むことで、利用者 の増加と目標の達成につなげている点 について評価できます。 ・今後も、地域のニーズを踏まえた運行 内容の検討や、自治会へのチラシ配 布、イベント時の意識啓発活動など地 域と連携して利用者の増加と、それによる 持続可能な交通ネットワークが構築さ れることを期待します。		
		一の俣線 豊田総合支所～佐野		A					
		今出線 豊田総合支所～地吉		A					
		一の瀬線 豊田総合支所～中の瀬		A					
		樫の木・保木線 バスターミナル～樫ノ木		A				B	

【実績運行回数】 ※ 補助対象年度：10月～9月



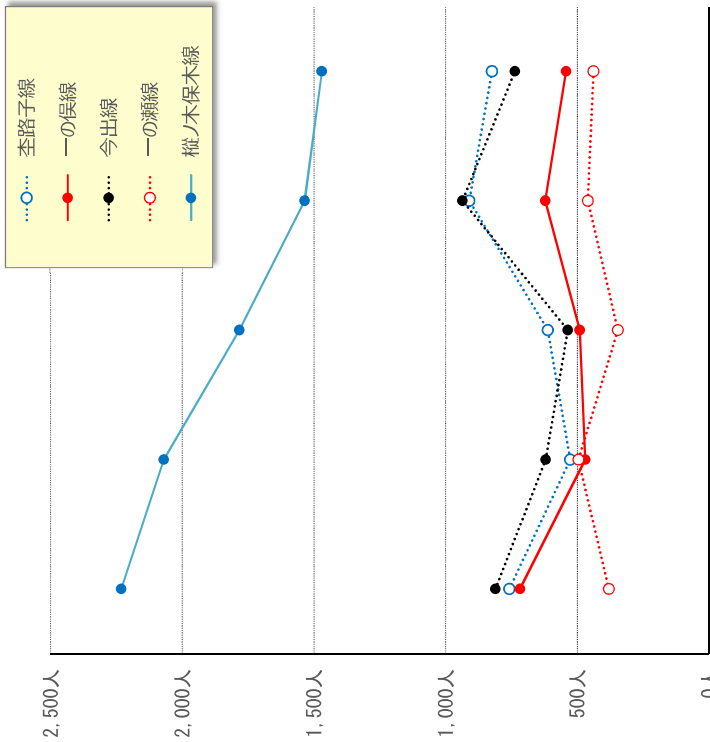
実績運行回数 (回)	H27.10 ～H28.9	H28.10 ～H29.9	H29.10 ～H30.9	H30.10 ～R1.9	R1.10 ～R2.9
	H28	H29	H30	R1	R2
豊田 - 空路子線	461	356	399	551	304
一の俣線	374	288	310	399	176
今出線	489	436	391	552	257
一の瀬線	286	343	245	327	180
菊川 - 縦ノ木保木線	788	707	333	350	333

※災害等やむを得ない運休回数含む

計画 (目標) 運行回数 (回)					
豊田 - 空路子線	882	651	615	501	464
一の俣線	882	705	527	457	377
今出線	882	624	571	571	491
一の瀬線	882	624	308	352	350
菊川 - 縦ノ木保木線	1,176	932	879	856	794

計画 (目標) に対する実績運行割合 (%)					
豊田 - 空路子線	52.3%	54.7%	64.9%	110.0%	65.5%
一の俣線	42.4%	40.9%	58.8%	87.3%	46.7%
今出線	55.4%	69.9%	68.5%	96.7%	52.2%
一の瀬線	32.4%	55.0%	79.5%	92.9%	51.4%
菊川 - 縦ノ木保木線	67.0%	75.9%	37.9%	40.8%	41.9%

【実績利用者数】 ※ 補助対象年度：10月～9月



利用者数 (人)		H27.10 ～H28.9	H28.10 ～H29.9	H29.10 ～H30.9	H30.10 ～R1.9	R1.10 ～R2.9
豊田 - 空路子線		758	527	612	910	824
一の俣線		718	470	491	622	543
今出線		811	620	536	936	737
一の瀬線		380	496	346	460	439
計		2,667	2,113	1,985	2,928	2,543
目標利用者数		-	-	-	2,190	2,270
目標達成率		-	-	-	133.7%	112.0%

利用者数 (人)		H27.10 ～H28.9	H28.10 ～H29.9	H29.10 ～H30.9	H30.10 ～R1.9	R1.10 ～R2.9
菊川 - 縦ノ木保木線		2,232	2,070	1,783	1,535	1,470
目標利用者数		-	-	-	1,910	1,980
目標達成率		-	-	-	80.4%	74.2%
※利用者数による目標設定は、H29.10月運行から						
菊川 - 全域 (7路線)		15,549	13,918	13,459	13,528	12,134